

知識向上・能力向上に向けた取り組み

| | |
|------|--|
| 事例1 | 対象：発達障害Aさん男性（3年目） |
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・仕事へのモチベーションの保持 ・社会性の向上 |
| 計画 | デザートプレートのワッフルを焼いてみよう |
| 理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分でお菓子作りをすることが好きで家庭で作ってきて振舞われていた ・仕事へのモチベーションを保てていない状況があった ・接客への不安等が見られた |
| 経過① | 本人に任せている仕事の合間で行う予定であったが、時間が取れないことや本人が、今の仕事を優先したいという気持ちが強く実施に至れなかった。 |
| 振り返り | 本人に任せている仕事の時間配分や本人の仕事として意識をしてもらう必要があったため、時間を設定して行うようにした。 |
| 経過② | 時間を設定することで、本人も意識して行うことができた。 他の仕事をしている時よりも表情は良く、楽しんで仕事ができている様子があった。 |
| 振り返り | 本人の好きなことを仕事に組み込んだことで意欲の向上にはつながっていた。 その時間に1対1での対応を行うことで苦手としている社会性の向上につなげる意図があったが、その時間帯での対応が難しかったため、振り返りの時間を持ち、その時間で悩み、困っていること、上手くできていることの把握を行い、「相談する」を意識付けしていった。 |